

令和4年度第4回池田市行財政改革推進委員会 議事要旨

【と き】 令和4年12月6日（火） 午前10時00分～午前10時50分

【ところ】 池田市役所 3階 議会会議室

【出席者】

■委員：中川会長、村瀬副会長、福井委員、真崎委員、荒木委員、村上委員、牛嶋委員

■事務局：水越総合政策部長、塩川総務部長、森本総合政策部次長兼財政課長、松永人事課長、檜垣行財政改革推進課長、行財政改革推進課富永主幹、行財政改革推進課奥田主任主事、行財政改革推進課阪上主事

【傍聴者】 0名

【内 容】

1) 開会

=事務局から配付資料の確認=

2) 議事

案件1：池田市行財政改革指針（案）に関する意見書(案)について

=事務局から配付資料について説明 =

=質疑応答（抄録）=

副会長：1ページの中に、第1期が平成18年度まで、第2期は平成18年度からとなっており、平成18年度が重複しているのは正しいのか。2ページの本市人口推移というのは予測か。左下の年度表記は和暦か西暦か。真ん中の表は和暦かと思うが、左の表は和暦としては古いため、西暦であるならば和暦に統一するべきかと思う。

事務局：第2期が第1期の最終年度に前倒して開始した経緯があり、年度が重複しているところ。2ページ表の推移は下に記載の出典のとおり国立社会保障人口問題研究所が出している予測を引用している。こちらは令和の「R」の表示が抜けているため改める。

会長：内容についてこの場で修正があればお願いします。修正がない場合はその旨ご発言いただきたい。

委員：修正対応ありがとうございました。私からは特段何もない。先ほどの組織変更について、議案の内容でまだ確定ではないのかもしれないが、可能な限りで詳細を教えてください。

委員：修正など反映いただきありがとうございました。2ページの本市人口推移について、誤字として「令和12度」を「令和12年」に修正をお願いします。今からは難しいかもしれないが、この表で高齢者人口が増えていくことと人口が減っていくことを伝えたいのであれば、65歳以上の人口比率（%）が折れ線グラフで重なっていればよりわかりやすいと思う。また最近では高齢者を65歳で区切ってしまうのか、75歳も線としてあるべきかが変わってきていると思う。人口推移は市の運営において非常に重要な数字かと個人的に思うので、より伝えたいことがわかるグラフになるといいと思う。

事務局：組織改正について12月議会に、総合政策部内にあるSDGs政策企画課という課を政策企画課という名称に改め、行財政改革推進に関する業務を所管する形を提案しているところ。グラフの扱いについてはご意見を参考に、わかりやすい形に改める。

会長：令和2年の場合は頭に「R」をつけるということか。

事務局：つけさせていただく。

委員：修正ありがとうございました。前回欠席しており議論に参加できていないが、資料を見て私から修正点はない。引き続ききっちりした資料作りをお願いします。

委員：今回もさらに見やすい修正や工夫がされていた。一文一文が短くなっており、読みやすくなっていてありがたい。2ページのグラフは、実際に私たちが目にするときにはカラーになるのか。

事務局：印刷物になるとこちらのように白黒だが、ホームページ上で公開する際はカラーで見られるように掲載する予定。

会長：根本的な修正はなかったと思うが、先ほどの表に関する意見については検討いただくことでお願いします。

案件2：指針（案）の名称について

＝事務局から配付資料について説明＝

＝質疑応答（抄録）＝

会長：たくさん案があるが大きく4つに分類されている。ご自分が提案されたものへの思いもあると思うが、ほかの方の意見を見たいうえでご意見をいただきたい。

委員：一番左の副題をつけるパターンが2案ともいいと思った。

委員：まずガイド・プラン・プロジェクトとあるが、ガイドとは本来一番上にあり、その下にプランがあり、プロジェクトはそれとは全く別に横串としてあるもので、そもそも位置づけが異なるが、どれを選んでもいいのか。どれでもいいのであれば、私は漢字が多くとっつきにくいものよりも、柔らかい感じの「まちの運営ガイドライン」や「いけだ充実化ガイド」等がいいと思う。

委員：私も「行財政改革」という文言は残した方がいいと思っており、また「まちの未来設計プラン」というのも「未来に向けて取り組む」という姿勢を表題にしておきたいと思う。

委員：私は「行財政改革指針+副題」がわかりやすいと思う。総合計画の「『だったらいいな』を叶えるまち いけだ」と同じような雰囲気にするのであれば「ネクストステージプラン」や「ステップアッププラン」というのもいいと思う。

委員：「行財政改革」という言葉を残して副題をつけるとしたら、「池田」という言葉が入っている方がいいと思う。クオリティアップもよい。

副会長：私は「ネクストステージプラン」と「ステップアッププラン」を挙げたが、これは「量の行財政改革から質の行財政改革へ次のステージに上がる」という思いを込めての発想である。レベルという意味で言うとガイドがいいと思っており、「ネクストステージガイド」「ステップアップガイド」とするのもよい。「池田」を入れるなら平仮名がいいと思う。副題は、両方ともとても素晴らしいいい言葉だが、「行財政改革推進委員会」に求められる役割からするとやや広く、市の全般に関わるようにも感じる。

会長：まずレベルの整理をする。具体的な事業を掲げていくわけではないので「プロジェクト」ではないことははっきりしている。ガイドかプランかについては、プランというにはざっくりしており、2人のご意見からするとガイドの方がおさまりがいいように思われるため、ガイドにレベルを統一する。プランのグループにある名称も「ネクストステージガイド」「ステップアップガイド」と変えてもいいと思う。他にも「まちの運営ガイドライン」や「いけだクオリティアップ指針」、「いけだ充実化ガイド」がそれぞれ委員からご支持があったところ。もう一つ論点を上げると副題を入れるかどうかだが、副題があった方がいいという

方は挙手願う。

(挙手)

会長：約半数が副題ありに賛成した。ではどんな副題がいいかという、「池田」があったほうがいいという意見があったが、「住む人、働く人…縁ある人を大切にする池田」「行動する、工夫する、前進する池田」の二つともに入っており、どちらがいいか。上の方が穏やかで下の方はアクティブな印象である。上の方がいい人挙手願う。

(挙手)

会長：多数が賛成のため上の案に決定する。池田は平仮名か漢字か。副題であれば漢字か。では漢字のままとする。

ではガイドの言葉だが、多数の意見が集まっている「ネクストステージ」は総合計画の基本構想ほどのレベルの高さに思え、ステップアップならみんなです少しの工夫をすればできる印象を受け、ステップアップガイドがとてもいいと思うがどうか。

委員：行財政改革指針という言葉を残してもいいのではという意見もあったと思う。現状では何のステップアップかわからないかと思うので、改革の代わりに入れて「行財政ステップアップガイド」としてはどうか。

会長：もともと「改革」という言葉の印象がきつから名称を変えるという話であった。確かにコストダウンからパフォーマンスアップ、質への転換と三段階きており、ステップアップである。前に「池田」はつけるか。

委員：副題についているので、無くてもいいのでは。

会長：では「行財政ステップアップガイド～住む人、働く人…縁ある人を大切にする池田～」になる。

委員：「働く人」と「縁ある人」の間の「…」と、「住む人」と「働く人」の間の「、」を変えているのは意味があつてのことか。

委員：住む人、働く人が一つのグループ、縁ある人がより大きなグループということ。

会長：並列であつてもおかしくない。いわゆる定住人口、勤労者人口、訪問人口のことを

と言っていると思う。

事務局：「…」は入れるか？

中川会長：読点（、）とする。「…」というのは見た人に意味を考えさせるため、その意味を行政側が説明しなければならなくなる。指針本体の中のどこに着想があるのかというと、本文にそこまで具体的に記述しておらず、またどの人も均等に大事にするならば「、」でいいと思う。

事務局：学生は入ってないのかというような質問が想定されるが、中に含まれていることとする。

会長：ではいまのを案としてお返しするが、名称本体に「池田」がないといけない等の議論があるかもしれない。そうなれば事務局へお任せする。当方としては可能な限り皆様の総意の滲み出た案を出したが、これで決定という傲慢な気持ちはない。それでは事務局の作業をお願いする。事務局の作業の後、皆様に意見書案を確認いただくことになるが、それまでの間せっかくなので皆様から思ったことをご発言願う。

委員：意見書案に記載されていた、「新たな指針の名称は…という思いを込めて」というこの思いの部分がいまからの雑談でまとめるのか？

事務局：簡略化も含め、いまは思いのところは抜いて作成しているところ。

委員：名称が瞬く間に決まり驚いた。みんなの思いもこもっており、災いではないが転じていいものができたと思った。実はいい案が思いつかず名称案を提出できなかったのだが、おかげさまでいいものができた。ありがとうございました。

委員：本市人口推移について、社人研の推計でおそらく中位推計かと思う。これは高めの特殊出生率をもとに出しているため、最近ニュースであったように出生数が60万人以下（注：2022年1月から9月の出生数が59万9千人余と、年間80万人を初めて下回る過去最少ペースであること）となった場合、さらに減ると考えられる。どういう減り方をしていくのかを自らもある程度想定をしながら今後の計画を進めてほしい。最近では高齢者人口として65歳で区切る意味もあまりなくなっているのではないか。65～74歳の就業率が40%と聞けばもはや労働人口になりつつある。人口推移は非常に大事だと思っており、いろいろ検討されているとは思いますが、数字をそのまま見るだけでなく、様々な角度で見るとより今後の計画に生きてくると思う。

委員：私も人口推移が気になった。約10年後に10万人を切り、さらにその後8万人台という数字が予測されている。市として人口が減っていくのは厳しいと思うし、高齢化がこれ以上進めば、ますます若い人にもっと住んでもらわなければ、池田市の税収は減っていくことになる。今後池田市の人口を増やすための課題があると思うが、しっかりした取組が必要だと思った。

委員：総合計画が10年を期間にして未来を考えていく中で、2ページのグラフを見ると40年でこれだけの費用が必要になる等が書いてあり、自分の子や孫の世代の話をしていると思うと、改めて背筋が伸びる思いがした。大事なことなので一生懸命考えていきたい。

委員：広報に載っていた総合計画を見たが、池田市の人口はあまり増えていない一方、空き家が非常に増えており、また山の上の地域は空き家が多くて大変であるということで、色々見直さなければいけないと思った。

副会長：先ほどの組織改正の話で、この委員会の所管が政策企画課に変わるということは、今の行財政改革推進課の名称が変わるだけではなく、課の編成や担当の職員も変わるということか。

事務局：組織改正について、今回総合政策部内を含め総務系の部署を多く整理している。行財政改革推進課が大きく2つに分かれ、1つは行財政改革に関する部分は今のSDGs政策企画課に、新たな名称は政策企画課に移管されるということ。それ以外の行政管理に関する業務は引き続き行政管理課という名称の課へ移行することになる。今の職員を固定するとして考えると、所管が変わるため担当が変わるが、さらに来年4月には人事異動も合わせて実施されるため、担当がどうなるかは見通しが立たない状況である。

会長：皆様のお手元に意見書のコピーが配られたと思う。文章上の表現についてはほぼ我々の提案が採択され、必要な修正がなされたことを確認している。また指針案の内容についても、「質の行財政改革というのは必ずしも定性的である必要はない。質というものを明確にし、目標設定し課題の振り返りをし、質を定量的に測る評価について、引き続き工夫を凝らしながら着実に取組を進めてください」ということを書いている。PDCAサイクルについては、「運用の方法についての改善については評価しているが、本来ならばPDCAサイクルを回すうえで、取組実績とそれに対する評価や課題を出して、次年度の目標を設定する順番であるべきである。年度報告書

のフォーマットについてもこのような回転がうまくできるような設計等を加えていただきたい」ということである。指針案の名称はいま皆様と決めた通り、「行財政ステップアップガイド～住む人、働く人、縁ある人を大切にする池田～」ということ提言するという内容である。これでよろしいか。

(異議なし)

会長：それではこれより、この委員会を代表し、わたくしから水越総合政策部長に意見書をお渡しさせていただく。

＝中川会長から水越総合政策部長に意見書を手交＝

事務局：ただいま中川会長から新たな池田市行財政改革指針（案）に関する意見書を頂戴した。委員の皆様からのご意見を踏まえ、新たな指針に沿い、更なる改革を推進してまいりたいと考えている。また今回提案いただいた名称について、市民の皆様に広く周知できるようにしていきたい。皆様においては、今後も本市の行財政改革について忌憚のないご意見を頂戴することをお願いする。本日はどうもありがとうございました。

3) 事務連絡

事務局から委員会の今後の予定について説明

4) 閉会

以上